

ASCHENPUTTEL

— ICH BIN HIER. —



灰の中から、私はここにいる。
それでも、私はまだいる。

ASCHENPUTTEL

TRACKLIST



- | | | |
|----|-----------------------|--------------|
| 01 | Mutter | 母 |
| 02 | Asche | 灰 |
| 03 | Der Haselbaum | ハシバミの木 |
| 04 | Ich will auch | 私も |
| 05 | Bäumchen, rüttel dich | 小さな木よ、揺れて |
| 06 | Alle sehen mich | みんなが私を見ている |
| 07 | Noch einmal | もう一度 |
| 08 | Ich sehe euch | 私はあなたたちを見ている |
| 09 | Eine Spur von mir | 私の痕跡 |
| 10 | Schneid es ab | 切り落としなさい |
| 11 | Er passt | 合う |
| 12 | Wie soll ich heißen? | 私は何と名乗ればいい？ |
| 13 | ASCHENPUTTEL | 日本語訳 |

Mutter

母



[Intro]

[静かなピアノ、低いチェロ]

[遠くで風の音]

[Verse 1 : 少女]

お母さん

今日は空が白いね

窓の外の木も

庭に残った雪も

眠っているみたい

あなたの手を握ると

こんなに温かいのに

どうしてみんな

悲しい顔をしているの？

[Verse 2 : 母]

私の小さな子

よく聞いて

いつか私の姿が



見えなくなっても
あなたが私を呼ぶ声を
私は忘れない
優しい心を
どうか失わないで
あなたがひとりになっても
私はあなたを見ている

[Interlude]

[チェロと弦楽四重奏]

[少女の呼吸だけが残る]

[Verse 3：少女]

行かないで
まだ話したいことがある
まだ聞きたいことがある
明日の朝も
ここにいて
私の名前を呼んで
もう一度だけ
私の名前を呼んで

[Mother]

あなたは



あなたのままでいて

[Girl]

お母さん？

[Mother]

忘れないで

あなたは――

[沈黙]

[Verse 4：少女]

お母さん？

お母さん

ねえ

どうして

返事をしてくれないの

[Orchestra slowly enters]

私はここにいるよ

ここにいるよ

だから

目を開けて

お願い

私を見て

[Outro]

[ピアノだけになる]



私はここにいる
ここに……
いるよ

Asche

灰



[Intro]

[低い弦楽器]

[遠くで時計の音]

[Verse 1：少女]

お母さんがいなくなって

季節がひとつ過ぎた

ハシバミの木は

少しだけ大きくなった

私は毎朝

あなたに話しかける

今日あったこと

昨日泣いたこと

返事はなくても

あなたは聞いている気がした

[Interlude]

[馬車が近づく音]

[音楽の空気が変わる]

[Verse 2：姉たち]



見て
あの子がそうなの？
なんて地味な服
なんて冴えない顔
まあいいわ
私たちの荷物を運んで
その部屋も使いたいの
あなたには必要ないでしょう？

[Girl]

でも、ここは
私の部屋です

[Stepmother]

今日まではね

[短い沈黙]

[Verse 3 : 少女]

服がなくなった
部屋がなくなった
食卓の椅子がなくなった
名前を呼ばれることも
少なくなった
朝は水を汲み



火を起こし
床を磨く
夜になるころには
指が冷たくなっていた
でも誰も
気づかなかった

[Pre-Chorus]

[低い電子音が少しずつ混ざる]

鏡を見る
そこにいるのは
誰？
髪には煤
頬には灰
昨日までの私は
どこへ行ったの？

[Chorus]

私はここにいる
……いるはずなのに
誰も私を見ない
私はここにいる
そう言ってみても



声は灰の中へ
落ちていく

[Bridge : 姉たち]

[軽く、嘲るように]

灰だらけ
煤だらけ

また暖炉のそばで寝ていたの？

きれいな名前なんて
もう似合わないわ

[Stepmother]

そうね
これからは――

[姉たち]

Aschenputtel
Aschenputtel
Aschenputtel

[少女]

それは……
私の名前じゃない

[Sisters]

Aschenputtel



Aschenputtel

[音楽が歪み始める]

[Final Section：少女]

私の名前は――

[沈黙]

私の……

名前は……

[長い沈黙]

思い出せない

[Outro]

[暖炉の音]

[遠くで姉たちの声]

Aschenputtel

Aschenputtel

Aschenputtel…

[少女・小さな声]

私はここにいる

……はずなのに

Der Haselbaum

ハシバミの木



[Intro]

[冷たい風]

[遠くで鳥の羽音]

[一本のチェロと微かなピアノ]

[Verse 1 : 少女]

今日も来たよ

何を話せばいいのか

もう分からないけれど

ここに来れば

あなたがいたことだけは

思い出せる

あの日植えた小さな木は

こんなに大きくなったよ

私だけが

小さくなっていくみたい

[Interlude]

[風が枝を揺らす]

[白い鳥の声]



[Verse 2 : 少女]

ねえ、お母さん

みんなが私を

違う名前と呼ぶの

何度も

何度も

その名前を聞いているうちに

本当の名前が

分からなくなった

私の名前を

覚えてる？

[Silence]

もし覚えているなら

もう一度

呼んでほしい

[Instrumental]

[木管楽器が初めて入る]

[鳥の声に似た短い旋律]

[White Birds]

Ah

Ah

[Girl]



誰？

[White Birds]

Ah-

Ah-

[Girl]

お母さんなの？

[風]

違う……

でも

なぜだろう

あなたのそばにいるときと

同じ気持ちができる

[Pre-Chorus]

[音楽に少しずつ温かさが戻る]

白い鳥が

枝にとまっている

一羽

また一羽

私を見ている

逃げない

笑わない



私を
灰かぶりと呼ばない
ただ
私を見ている

[Chorus]

だから私は歌ってみる
小さな声で
まだ名前は
思い出せないけれど
この声は
私のもの
誰にも
もらったものじゃない
誰にも
つけられた名前じゃない
この声だけは
私のもの

[Interlude]

[白い鳥たちが少女の旋律を繰り返す]

[Verse 3]

お母さん



聞こえる？
今日は少しでも
泣かずに話せたよ
明日も
ここへ来てもいい？
名前を思い出すまで
私が
私を思い出すまで
[Bridge]
[少女と鳥の声が重なる]
[Girl]
私は――
[一瞬の沈黙]
[Girl]
まだ分からない
でも
私は――
[White Birds]
Ah
[Girl]
ここに……
[言いかけて止まる]



ううん
今日は
ここまででいい

[Outro]

[ピアノと木管]

[鳥が羽ばたく]

[Girl, softly]

また明日
お母さん
[遠くから鳥の声]

Ah-

Ich will auch

私も



[Intro]

[朝の光]

[姉たちの笑い声]

[軽やかな弦とピアノ]

[Verse 1 : 姉たち]

今夜はお城で舞踏会

どのドレスにしよう

どの靴にしよう

髪はもっと高く

宝石はもっと華やかに

ねえ、あなた

ぼんやりしないで

このリボンを結んで

靴を磨いて

髪を梳かして

今夜は王子様が

私たちを見るのよ

[Girl]



見る……

[姉たち]

そう

選ばれるかもしれない

[少女・小さく]

選ばれる……

[Verse 2 : 少女]

鏡の前で

姉たちは笑っている

昨日と同じ顔なのに

今日は誰かに見てもらうための顔

私はその後ろで

髪を結び

ドレスを整える

鏡の端に

私も映っている

灰のついた服

荒れた指

でも——

私も映っている

[Pre-Chorus]



[音楽が静かになる]

私も……

行ってみたい

[Silence]

[Girl]

私も

舞踏会へ行きたい

[Sisters]

あなたが？

[短い笑い]

[Girl]

……うん

[Sisters]

その格好で？

[Stepmother]

静かに

[Verse 3：継母]

行きたいのなら

ひとつ仕事をしましょう

灰の中に

豆を撒いてあげる

良いものと悪いもの



ひとつ残らず分けなさい
できたなら――
考えてあげてもいいわ

[Girl]

本当に？

[Stepmother]

ええ

できたならね

[Instrumental]

[豆が灰へ落ちる乾いた音]

[音楽が不規則なリズムへ変わる]

[Verse 4：少女]

ひとつ

ふたつ

みっつ

灰の中から

拾い上げる

指が黒くなる

目が痛くなる

それでも拾う

今日は



命令されたからじゃない

私が

行きたいから

[Chorus]

私も行きたい

私も見たい

あの扉の向こうを

誰かに選ばれたいからじゃない

王子様に

見つけてほしいからじゃない

ただ

私の知らない世界を

私の目で見たい

私も行きたい

この足で

私も――

[一瞬止まる]

行く

[Interlude]

[鳥の声]

[Girl]



あなたたち……

[White Birds]

Ah

[Girl]

手伝ってくれるの？

[音楽が動き始める]

[鳥の声とフルート]

[Ensemble]

良いものは籠へ

悪いものはそのまま

ひとつ

ふたつ

みっつ

良いものは籠へ

悪いものはそのまま

[音楽が加速する]

[Girl]

できた！

全部！

[Silence]

[Verse 5]

お母さま



終わりました

約束どおり

私も――

[Stepmother]

だめよ

[Girl]

……え？

[Stepmother]

あなたを連れていくなんて

誰が言ったの？

[Sisters, laughing]

Aschenputtelが舞踏会？

Aschenputtelが？

[Girl]

でも……

約束した

[Stepmother]

約束？

あなたと？

[扉が閉まる]

[Silence]

[Final Section：少女]



まただ
また
私の声は
なかったことにされた
[長い沈黙]
……でも
今日は違う
私は言った
「行きたい」と
あなたたちが
聞かなかったことにしても
私は
ちゃんと言った
[音楽が少しずつ強くなる]
私も行きたい
私も見たい
私も——
望んでいい
[Outro]
[遠くで馬車が走り去る]
[ハシバミの木を揺らす風]



[Girl]
お母さん
私……
行きたい

Bäumchen, rüttel dich

小さな木よ、揺れて

[Intro]

[夜]

[遠ざかる馬車の音]

[風に揺れるハシバミの葉]

[Verse 1 : 少女]

行ってしまった

笑い声も

馬車の音も

もう聞こえない

残ったのは

灰のついた服と

私だけ

でも今日は

泣きに來たんじゃない

お母さん

今日は

お願いがあるの

[Interlude]



[鳥の声]

[遠くでフルートが短く応える]

[Verse 2 : 少女]

私は舞踏会へ行きたい

王子様に

選ばれるためじゃない

誰かに

きれいだと言ってほしいからでもない

私はただ

あの門の向こうへ

行ってみたい

知らない音を聞いて

知らない人を見て

私の知らない私に

会ってみたい

[Silence]

だから――

今日は

助けてほしい

[Pre-Chorus]

[ハシバミの枝が揺れる]



前なら
こんなこと言えなかった
何かを欲しいなんて
わがままだと思っていた
でも

この声は私のもの
この願いも
私のもの
だったら私は
願っていい

[Chorus]

小さな木よ
揺れて
揺れて
金と銀を
私に落として
白い鳥よ
聞こえるなら
私のところへ
飛んできて
私は行きたい



私は見たい
誰かが決めた私じゃない
まだ知らない私を
この目で
見てみたい

[Instrumental]

[鳥たちが一斉に羽ばたく]
[Track 3のフルートの旋律に戻る]
[弦楽器が少しずつ広がる]

[White Birds]

Ah

Ah

[Girl]

……きれい

[Verse 3 : 少女]

枝から落ちてきたのは
金の光
銀の光
触れるのが
少し怖い
こんなもの
私には似合わない



[Silence]

……違う

また

誰かの声で

自分を見ていた

似合うかどうかを

決めるのは

私でいい

[Transformation]

[音楽が少しずつ華やかになる]

灰を払う

髪をほどく

冷たい水で

顔を洗う

鏡を見る

そこには

知らない女の子がいる

でも――

目だけは

私のまま

[Chorus]



私は行く

この服で

この足で

誰かに選ばれるためじゃない
誰かのものになるためじゃない

今夜だけ

私が

私を選ぶ

[Bridge]

[鳥たちの声と少女の声が重なる]

[Girl]

これが私？

[White Birds]

Ah

[Girl]

それとも

これも私？

[Silence]

[Girl]

……どちらでもいい

灰の中の私も

この服を着た私も

どちらも
私だから

[Outro]

[遠くから舞踏会の音楽が聞こえ始める]

[Girl]

お母さん
行ってくるね
[少し間を置いて]
今夜は
私が
私を連れていく

Alle sehen mich

みんなが私を見ている



[Intro]

[豪華な舞踏会]

[弦楽器とワルツ]

[大勢の話し声と笑い声]

[Ensemble]

踊れ

踊れ

今夜だけは

夜が終わらないように

金の光

銀のグラス

名前も身分も

今夜は輝きの中へ

踊れ

踊れ

[Instrumental]

[大きな扉が開く]

[Silence]



[Verse 1 : 少女]

……静かになった

どうして？

さっきまで

あんなに笑っていたのに

一歩

中へ入る

また一歩

誰も

目をそらさない

[Whispers]

誰？

あの人は誰？

どこの娘？

見たことがない

きれい……

[Girl]

みんなが

私を見ている

[Pre-Chorus]

昨日まで



私は同じ街にいた
 同じ空の下を歩いて
 同じ手で
 水を汲んでいた
 誰も
 私を見なかった
 なのに今夜は
 一歩歩くだけで
 みんなの目が
 私を追ってくる

[Chorus]

みんなが私を見ている
 みんなが私を見ている
 ずっと
 見てほしかったはずなのに
 どうして
 こんなに
 息が苦しいんだろう
 これは私？
 みんなが見ている
 この女の子は

本当に
私？

[Instrumental]

[ワルツが再び始まる]

[少しだけ歪んだ和音]

[Verse 2：王子]

踊っていただけますか？

[Girl]

……私と？

[Prince]

あなたと

[Girl]

どうして？

[Prince]

理由が必要ですか？

[Girl]

……いいえ

[Prince]

では

[Waltz Duet]

[二人が踊り始める]

[Prince]



あなたの名前は？

[Girl]

私の……

名前？

[一瞬、音楽が揺らぐ]

[Prince]

言いたくなければ

言わなくてもいい

[Girl]

違うの

言いたくないんじゃない

私は……

[Aschenputtelの声が遠くから重なる]

Aschenputtel

Aschenputtel

Aschenputtel……

[Girl]

違う

[Prince]

何か？

[Girl]

なんでもない



[Verse 3 : 少女]

彼は私を見ている

姉たちのように

笑わない

継母のように

命令しない

でも

彼が見ているのも

このドレス？

この髪？

金と銀の光？

もし全部なくなったら

それでも

同じ目で

私を見る？

[Chorus]

みんなが私を見ている

でも

誰を見ているの？

ドレスの私？

灰の私？



今夜だけの私？

どれが本当で

どれが偽物？

[音楽が不安定になる]

違う

そうじゃない

灰の中の私も

このドレスの私も

どちらも私だと

さっき

言ったはずなのに

どうして私は

また

分からなくなるの？

[Bridge]

[ワルツが次第に速くなる]

[人々の囁きが重なっていく]

[Ensemble, whispering]

誰？

誰？

誰？



名前は？
どこの娘？

誰？

誰？

[Girl]

やめて

[Ensemble]

誰？

誰？

誰？

[Girl]

私は――

[音楽が止まる]

[Girl]

……まだ
分からない

[Silence]

[Prince]

大丈夫ですか？

[Girl]

はい

……いいえ



[短い沈黙]

少し

外の空気を吸いたい

[Final Section]

[遠くで時計の音]

一つ

[Girl]

あ……

[時計]

二つ

[Girl]

帰らなきゃ

[Prince]

待って

[Girl]

ごめんなさい

[音楽が突然加速する]

[Outro]

[足音]

[扉が開く]

[ワルツが遠ざかる]

[Prince, distant]



待って！

[Girl, running]

私は誰？

私は誰？

私は――

[Silence]

Noch einmal

もう一度



[Intro]

[夜の庭]

[荒い呼吸]

[遠くで舞踏会のワルツが消えていく]

[Verse 1 : 少女]

走った

振り返らずに

あの光から

あの視線から

逃げてきた

行きたいと言ったのは

私なのに

扉を開けたのも

私なのに

どうして私は

逃げたんだろう

[Interlude]

[ハシバミの葉が揺れる]



[遠くで鳥の声]

[Verse 2]

お母さん
みんなが私を見た
ずっと
見てほしかったはずなのに
怖かった
「きれい」と言われるたび
灰の中にいた私が
どこかへ
消えてしまう気がした
そして
名前を聞かれた

[Silence]

答えられなかった
自分の名前なのに

[Pre-Chorus]

[静かなピアノ]

ドレスを脱ぐ
金の光が消える
髪をほどく



鏡の前に
また
灰の私がいる

[Girl]

……おかえり

[短い沈黙]

違う
あなたは
ずっとここにいた

[Chorus]

ドレスを着ても
私
灰をかぶっても
私
誰にも見られなくても
私
みんなに見られても
私
そう言ったはずなのに
どうして
あの場所では



信じられなかったんだろう

私は誰？

まだ

分からない

でも

分からないままでも

私は

ここにいる

[Instrumental]

[Track 3のフルートの旋律]

[白い鳥が静かに応える]

[Verse 3]

あの人は

私を笑わなかった

命令もしなかった

ただ

名前を聞いただけ

悪いのは

あの人じゃない

怖かったのは

名前を言えない



私自身だった

[Silence]

だったら

逃げたままでは

終わりたくない

[Bridge]

[音楽に脈動が生まれる]

もう一度

あの扉を開ける

もう一度

あの光の中へ行く

今度は

見られても

目を伏せない

名前を聞かれても――

[一瞬止まる]

まだ

答えられないかもしれない

[Girl, softly]

それでもいい

[音楽が少しずつ強くなる]



答えを持ってから
生きるんじゃない
分からないままでも

私は
歩いていい

[Final Chorus]

もう一度
私は行く
王子に会うためじゃない
誰かに
認めてもらうためでもない
昨日

逃げ出した私を
置き去りにしないために

もう一度
あの場所へ
今度は
私が
私と一緒にいる

[Outro]

[鳥が羽ばたく]



[フルート]

[遠くで再びワルツが聞こえる]

[Girl]

お母さん

明日も

行ってくる

[Silence]

もう一度

Ich sehe euch

私はあなたたちを見ている

[Intro]

[再び舞踏会のワルツ]

[Track

6と同じ旋律、しかし柔らかに落ち着いている]

[大広間のざわめき]

[少女]

もう一度。

私は

この扉の前にいる。

昨日と同じ光。

昨日と同じ音楽。

昨日と同じ

たくさんの目。

[扉が開く]

[短い沈黙]

[Verse 1 : 少女]

見ている。

やっぱり



みんな私を見ている。

でも今日は
目を伏せない。

一歩。

もう一歩。

息をする。

大丈夫。

私は
ここにいる。

[ワルツが戻る]
そして気づく。

昨日は
見えなかった。
私を見ていた
この人たちにも
顔がある。

[Verse 2]

あの人
楽しそうに踊っている。

あの人
笑っているけれど



少し
退屈そう。
壁際の女性は
誰にも気づかれないように
靴を脱いでいる。
あの男性は
何度も鏡を見て
襟を直している。
[少女、小さく笑う]

なんだ。
みんな
自分のことで
いっぱいなんだ。

[Pre-Chorus]

昨日は
この部屋にある
すべての目が
私だけを
見ていると思った。
でも違う。
みんな



見られながら
誰かを見ている。

私と
同じように。

[Chorus]

私はあなたたちを見る。

あなたたちも

私を見る。

それでいい。

私は
見られるだけの人じゃない。

私は見る。

私は聞く。

私は選ぶ。

この世界の中に

私もいる。

[Instrumental]

[ワルツが大きく広がる]

[今回は歪まない]

[Verse 3]

そして



あの人がいる。
昨日
私の名前を聞いた人。
こちらに気づく。
でも今日は
待ってみる。
彼が来るのを
待つんじゃない。
私は
自分から歩いていく。

[少女]

こんばんは。

[短い沈黙]

昨日は
逃げてしまって
ごめんなさい。
名前は――

[一瞬止まる]

まだ
言えません。
でも



今日は
逃げません。

[Instrumental]

[二人が踊る]

[王子の声は使わず、少女の独白]

[Verse 4]

また踊る。

昨日と
同じ人。

昨日と
同じワルツ。

なのに
今日は
息ができる。
彼の目を見る。

そして思う。

この人も
私を見ている人の
一人なんだ。

王子だからじゃない。
私を救う人でもない。



ただ
今
私と踊っている人。

[Chorus]

私はあなたを見る。
あなたも
私を見る。
それでいい。
あなたが私を
選ばなくても
私は
消えない。
あなたが私を
好きにならなくても
私は
私でいられる。
だから今は
この音楽を
楽しみたい。

[Dance Section]

[華やかなワルツ]



[少女の笑い声ではなく、軽い呼吸]

[音楽が自由に広がる]

[少女]

楽しい。

[短い沈黙]

……楽しい。

[Bridge]

[遠くで時計が鳴る]

一つ。

[少女]

時計。

[もう一度鳴る]

二つ。

[少女]

昨日なら

ここで

逃げていた。

[静かな間]

でも今日は

逃げない。

帰るだけ。

[Final Chorus]



私はあなたたちを見る。

あなたたちも

私を見る。

名前はまだ

分からない。

答えもまだ

持っていない。

でも

私はここにいる。

そして

私は自分で

ここへ来た。

だから

自分で

帰る。

[Outro]

[少女がゆっくり歩く]

[ワルツはそのまま続いている]

[少女]

おやすみなさい。

[扉が開く]



[少女]

また来るかもしれない。

[外の夜風]

[少女、静かに]

今夜は
逃げなかった。

Eine Spur von mir

私の痕跡



[Intro]

[三度目の舞踏会]

[これまでのワルツが、最も自然で開放的な姿で戻る]

[少女]

三度目。

もう

扉の前では立ち止まらない。

開ける。

入る。

息をする。

そして――

笑う。

[Verse 1]

誰かが私を見る。

私も見る。

誰かが囁く。

でも



もう追いかけない。

「誰？」

その答えを

今夜

見つけなくてもいい。

音楽がある。

踊っている人がいる。

私も

ここにいる。

それでいい。

[Chorus]

今夜は踊ろう

答えのためじゃなく

誰かに

選ばれるためでもなく

ただ

この身体が

踊りたいから

一歩

もう一歩

この床に触れるたび



ここにいた私の時間が
ひとつずつ
残っていく

[Instrumental]

[大きく広がるワルツ]

[Verse 2]

また
あの人と踊る。
もう
名前は聞かれない。
私も
答えようとしなない。
話す。
笑う。
時々
黙る。
沈黙も
怖くない。
この人が
私をどう思うのか
少し



気になる。

[短い沈黙]

……少しだけ。

[少女、小さく笑う]

それも

悪くない。

[Pre-Chorus]

誰かを好きになることと

誰かに

自分を預けることは

同じじゃない。

誰かと

一緒にいたいと思うことと

一人では

いられないことも

同じじゃない。

だから

私は今

この人と

踊りたい。

それだけ。



[Chorus]

今夜は踊ろう
私が
そうしたいから
あなたの目に映る私も
鏡の中の私も
灰にまみれた私も
全部連れて
私は踊る
誰かになるためじゃない
私として
ここで
踊る

[Dance Section]

[ワルツが最も華やかに広がる]

[少女の声は言葉を離れ、短いヴォカリーズになる]

[Bridge]

[時計が鳴る]

一つ。

[少女]

もう
こんな時間。

[時計]

二つ。

[少女]

帰らなくちゃ。

[短い沈黙]

でも

今日は

何かを残していきたい。

[音楽が静かになる]

昨日までの私は

いつも

消えるように帰った。

誰にも分からないように。

何も残さないように。

でも今日は――

私がここにいたことを

消したくない。

[Final Section]

[少女が片方の靴を脱ぐ]

この靴で

私はここまで



歩いてきた。
灰のそばから
ハシバミの木へ。
ハシバミの木から
この場所へ。
これは
王子様に
見つけてもらうためじゃない。
私を
探してもらうためでもない。
ただ――
私が
ここにいた証。
[少女が靴を置く]
[Final Chorus]
私の痕跡を
ここに残す。
名前はまだ
なくても
私は
ここにいた。



見た。
聞いた。
選んだ。
踊った。
この夜を
私は
生きた。
だから
何もなかったことには
させない。

[Outro]

[少女の足音]

[片方だけ靴を履いた、不揃いな足音]

[少女]

おやすみなさい。

[扉が開く]

[夜風]

[少女]

これは
私の痕跡。

[遠くでワルツ]

私は



ここにいた。

TRACK 10

Schneid es ab

切り落とさない



[Intro]

[朝]

[城からの使者]

[硬い足音]

[Ensemble]

靴が残された
舞踏会の夜に
名前のない女が
残した靴
この靴に合う者を
探している

この足に
この形に
ぴたりと合う
ただ一人を

[Instrumental]

[扉が開く]

[Verse 1 : 姉]



来た
ついに
私のところへ来た
あの夜
王子が見ていた
あの女の靴
でも
履いてしまえばいい
私が履けば
私の靴になる
[靴を履こうとする]
……入らない
[Silence]
どうして？
あと少しなのに
ほんの少し
私の足が
大きすぎる
[Stepmother]
なら
小さくすればいい



[Girl]

……え？

[Stepmother]

足を。

[Silence]

[Chorus：継母]

切り落とさない

いらないものなら

切り落とさない

選ばれるためなら

少しくらい

なくなってもいい

王妃になれば

歩く必要なんてない

痛みなんて

今日だけよ

切り落とさない

あなたの未来に

邪魔なものを

[Instrumental]

[弦が鋭く切れる]

[直接的な切断音は使わない]



[Verse 2 : 姉]

痛い
でも
入った
見て
入ったでしょう？
私よ
この靴の女は
私だったの

[Ensemble, softly]

選ばれた
選ばれた
選ばれた……

[音楽が歪む]

[Verse 3]

馬車が走る
姉は笑う
靴の中では
赤いものが
少しずつ広がる

[Interlude]



[遠くから鳥の声]

[White Birds]

違う

違う

その靴を見て

血がある

その足を見て

その人ではない

[フルート]

[Track 3の旋律だが、冷たく鋭い]

[Ensemble]

戻れ

戻れ

その人ではない

[Instrumental]

[馬車が引き返す]

[Verse 4：二人目の姉]

じゃあ

次は私

姉には

合わなかった

でも私なら――



[靴を履く]

……かかとか

入らない

[Stepmother]

それだけ？

[Girl]

でも……

[Stepmother]

切り落とさない

[Girl]

お母さま……

[Stepmother]

選ばれたいのでしょう？

[Silence]

[Chorus：継母＋Ensemble]

切り落とさない

いらないものなら

切り落とさない

美しく見えるなら

見えないところは

どうでもいい

痛みは隠せる



血も拭けばいい
笑っていなさい
選ばれた女のように
切り落としなさい
あなた自身より
大切な未来のために

[Instrumental]

[激しい弦]

[不規則な脈動]

[Verse 5：二人目の姉]

入った
ほら
私も入った
痛くない
痛くない
痛く――

[短い沈黙]

……痛い

[Ensemble]

笑って
笑って



笑って

[Girl]

……笑わなきゃ

[馬車]

[White Birds]

違う

違う

血がある

その人ではない

戻れ

戻れ

[Climax]

[二台目の馬車も戻ってくる]

[二人の姉の声が重なる]

[Sisters]

どうして？

こんなに

頑張ったのに

こんなに

痛かったのに

これでも

足りないの？



何を
あとどれだけ
なくせば
選んでもらえるの？

[Silence]

[Stepmother]

まだ
一人いる

[音楽が止まる]

[Sisters]

……誰？

[Stepmother]

この家には
もう一人
娘がいる

[Final Section]

[遠くで灰を掃く音]

[Ensemble, whispering]

Aschenputtel……

Aschenputtel……

Aschenputtel……

[White Birds]



Ah

[フルートが本来の柔らかな旋律に戻る]

[Outro]

[少女の足音]

[少女・遠くから]

呼びましたか？

[Silence]

TRACK 11

Er passt

合う



[Intro]

[Track 10から続く静寂]

[灰を掃く音]

[少女]

呼びましたか？

[Silence]

[継母]

……あなたではないわ

[少女]

でも

私にも

履かせてください

[継母]

その靴を？

[少女]

はい

[Verse 1：少女]

見覚えがある



あの夜
私が
置いてきた靴
私が歩いた
私が踊った
私が
ここにいたことを
残すための靴
こんなところまで
来たんだね

[Instrumental]

[少女が靴へ近づく]

[Ensemble, whispering]

入るわけがない
灰まみれの娘に
あの靴が？

[少女]

貸してください

[短い沈黙]

足を入れる

[Silence]



……入った

[長い沈黙]

[Ensemble, softly]

合った……

[Verse 2]

痛くない

苦しくない

何も

切らなくていい

指も

かかとも

私のまま

この靴は

私に

合っている

[Chorus]

私は

小さくならなくていい

何かを

削らなくていい

誰かの形に



自分を
押し込まなくていい
合わないものに
私を
合わせなくていい
私が私のままで
歩けるものを
選べばいい

[Instrumental]

[柔らかなフルート]

[白い鳥のモチーフ]

[Verse 3]

姉たちを見る
足元を見る
赤く染まった布
震える指

[少女]

……痛いでしょう

[Sisters]

見るな

[少女]

どうして



そこまでのの？

[Sisters]

あなたには
分からない
選ばれなければ
何にも
なれないの

[Girl]

……違う

[Sisters]

何が？

[Girl]

選ばれなくても
あなたは
消えない

[Silence]

[Sisters]

そんなこと
誰が
教えてくれたの？

[Girl]

……誰も



だから
自分で
覚えたの
[Chorus]
私は
私の足で
ここまで来た
灰の中も
夜の庭も
舞踏会も
逃げた夜も
戻った夜も
全部
この足で
歩いてきた
だから
この足を
誰かのために
切り落としたくない
私の足は
私を



ここまで
連れてきてくれたから

[Bridge]

[遠くで鳥たちが歌う]

[White Birds]

Ah

[少女]

この靴が
私のものだから
合ったんじゃない

[Silence]

私が
私のままで
履ける靴だったから
残したの

[Final Section]

[使者たちのざわめき]

[Ensemble]

あの夜の女性だ
彼女だった
Aschenputtelが？
あの娘が？



[声が重なる]

Aschenputtel

Aschenputtel

Aschenputtel

[Girl]

待って

[音楽が止まる]

その名前で

私を

決めないで

[Silence]

私はまだ

自分の名前を

知らない

でも

あなたたちが

呼んできた名前だけが

私ではない

[Final Chorus]

靴は合った

それだけ



これで私が
誰なのか
決まるわけじゃない
王子が
私を見つけても
この靴が
私を証明しても
私を決めるのは
それじゃない
私はまだ
歩いている
私が
私になる途中を
[Outro]
[少女が両足で立つ]
[柔らかなフルート]
[Girl]
でも
ひとつだけ
分かる
[Silence]



この足は
私のもの
[一歩]
そして
私は
ここにいる

Wie soll ich heißen?

私は何と名乗ればいい？



[Intro]

[静かな朝]

[城へ向かう馬車ではなく、少女の足音]

[Verse 1：少女]

みんなが言う

「見つかった」

「あの人だった」

「王子が探していた娘」

「靴の持ち主」

そして

「もう灰の娘ではない」

……そうなの？

昨日までの私は

今日になったら

いなくなるの？

[Ensemble]

もう



Aschenputtelではない
 美しい服を着て
 城へ行けばいい
 これからあなたは
 王子の――

[Girl]

待って

[Silence]

また？

また私は

誰かに

名前をつけられるの？

[Verse 2]

最初は

お母さんが呼んでくれた

私の名前があった

いつの間にか

誰も呼ばなくなった

そして私は

Aschenputtelになった

灰の娘



汚れた娘
誰も見ない娘
今度は
Prinzessin ?
王女 ?
王子に選ばれた女 ?

[Silence]

それが
次の私なの ?

[Chorus]

私は
何と名乗ればいい ?
誰かがくれた名前を
ひとつずつ
着替えていけば
いつか
私になるの ?
娘
灰かぶり
謎の女
靴の持ち主



王子に選ばれた女

王女

どれも

私を語っている

でも

どれも

私の全部じゃない

[Instrumental]

[これまでの曲のモチーフが断片的に現れる]

[ピアノ、フルート、ワルツ]

[Verse 3]

お母さん

あなたが

私を呼んでくれた声を

もう

思い出せない

でも

不思議と

前ほど

怖くない

名前を忘れたら



私は
 消えてしまうと思っていた
 でも私は
 名前が分からないまま
 ここまで
 歩いてきた
 泣いた
 逃げた
 戻った
 踊った
 選んだ
 そして
 今
 ここにいる

[Pre-Chorus]

だったら
 名前は
 私を作るものじゃない
 私が生きたあとに
 私についてくるもの
 なのかもしれない



[Chorus]

私は
何と名乗ればいい？
まだ
分からない
でも
急いで
決めなくてもいい
誰かに
決めてもらわなくてもいい
私は
名前より先に
ここにいる
私は
役割より先に
ここにいる
私は――

[Silence]

ここにいる

[Bridge]

[白い鳥]



[《Der Haselbaum》のフルート]

[White Birds]

Ah

[Girl]

Aschenputtel

[Silence]

ずっと

嫌いだった

その名前

[Girl]

Aschenputtel

灰の中で

何度も

そう呼ばれた

小さくなるための名前だった

でも――

[音楽が少しずつ開く]

灰の中から

立ち上がったのも

Aschenputtel

ハシバミの木に



願ったのも
Aschenputtel
舞踏会へ行ったのも
逃げたのも
戻ったのも
踊ったのも
靴を残したのも
全部――
私

[Final Section]

だったら
この名前を
捨てなくてもいい
あなたたちが
つけた意味だけ
返す

[Silence]

名前は
私が持っていく

[Girl]

Aschenputtel



[少し笑う]

悪くない

[Outro]

[フルート]

[鳥が羽ばたく]

[Girl]

でも

それだけじゃない

私は――

[音楽が次曲へ続く]

ASCHENPUTTEL

日本語訳



[Intro]

[歪んだシンセベース、電子パーカッション]

[Verse 1]

[息づかいのような女性ボーカル]

肌には灰

髪にも灰

誰にも見えない

それでも私は

まだここにいる

[Chorus]

[重いシンセのドロップ、疾走するビート]

Ah-ah-ah

Ah-ah-ah

[Verse 2]

[パーカッションが薄れ、シンセパッド]

ハシバミの木の下で

お母さんは静かに眠っている

忘れたくないから



私は涙を捧げる
私の上を飛ぶ白い鳥たち
私の呼ぶ声が聞こえる？
私の願いを空へ運んで
もっと高く
もっと高く

[Pre-Chorus]

[シンセが次第に高まっていく]

灰の中から
私は立ち上がる
沈黙の中から
私の声が育っていく
私はここにいる！
私はここにいる！

[Chorus]

[インダストリアル・ポップのフルサウンド]

私の声を聞いて！
金からじゃない
光からでもない
灰の中から
私はあなたのもとへ行く



もっと高く

もっと高く

もっと高く

飛んで！

飛んで！

飛んで！

[Bridge]

[ハーフタイム、暗い空気]

広間では

影たちが回っている

名前のない顔たち

ほんの一瞬

誰も私の傷跡を知らない

でも

この夜は私を縛れない

どんなドレスも

私そのものじゃない

私は暗闇を走り抜け

私の痕跡を残していく

[Build-up]

[高速の電子スネアロール]



私は

私は

灰

灰

灰

灰

私はここにいる

ここに

ここに！

[Outro]

[音楽が大気のようなシンセパッドへ溶けていく]

私は

私は

私

私

私

私はここにいる

肌には灰

でも、その下に

私はまだいる

ICH BIN HIER.



肌には灰。
でも、その下に
私はまだいる。

ASCHENPUTTEL
Japanese Digital Booklet
4AM Chick Project